

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉
研究センター

②施設・事業所情報

名称：港南あひる保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：阿部喜代美	定員（利用人数）：50名
所在地：〒233-0005 横浜市港南区東芹が谷14-10	
TEL：045-823-7439	ホームページ：準備中
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 あひる会	
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：17名
専門職員	園長：1名 保育士：21名
	栄養士：2名 調理員：2名
	事務員：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 4
	（設備等） 給食室・医務室兼休憩室・事務 室・多目的ホール・多目的トイ シ・教材庫・屋上園庭

③理念・基本方針

【保育理念】

- ・子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、心身ともに健やかに育ちゆく場となるようにします。
- ・保護者と保育者がしっかり手をつなぎ、子どもを真ん中に共に成長していける場となるようにします。
- ・地域に根ざした保育園として様々な交流を大切に、要望に応えます。

【園目標】

- ・安心安全な保育園作りを目指します。
- ・保護者と共に保育を行い、安心して意見を言える保育園を目指します。
- ・職員が元気で自信を持って働ける保育園作りを目指します。
- ・地域の中の保育園として地域の理解を得るとともに地域活動への参加を進めます。
- ・保育園の財産管理を適正に行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・1967年に近隣の病院に勤める看護師の有志が、自分たちの子どもの預け先として立ち上げた無認可共同保育所を前身としており、今も保育理念の一つに「保護者と保育者が手をつなぎ、子どもを真ん中に共に成長していける場」であることを謳っています。
- ・園では30年前から午前睡を取り入れています。早寝早起きで毎日いきいき生活できるようにリズムを整えることに重きを置いています。1歳児の後半から午前みの昼寝に移行し、睡眠・休息をとってから給食を食べることで、しっかり味わって美味

しく食事を取ることができています。午後は散歩等、戸外に出て身体を動かし、クラスや異年齢の交流も意識して過ごす等、降園時間までしっかり遊んですごしています。夜早く眠り休息を取ることで、脳や身体の発達を促進し、健康な体づくりを目指しています。

・美味しい給食を楽しんで食べる事、食の大切さを園全体で考え、取り組んでいます。安全な食材を使った昼食とおやつは全て手作りで、バランスの良い献立を心がけています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月17日（契約日） ～ 2023年3月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもたちは身体を十分使って遊び、しっかり食べて、元気に園生活を楽しんでいきます

保育士は子どもたちの主体性を大事にしています。子どもたちの戸外での遊びは「やってみたい！」と思う気持ちを大事にして、危険がない限り保育士は見守っています。乳児も小枝を持ったり、草むらに入ったり、虫をつついたり、遊具に挑戦したり、自由に探索行動をおこなっています。幼児になると木登り、ブランコの二人乗り、立ちこぎ、鉄棒、縄跳び、鬼ごっこなどで遊び、午前午後、戸外で自然に触れてダイナミックに身体を使っています。園庭には枕木のクライミングや稼働式の鉄棒、タイヤ、ボールなどや室内には跳び箱やマット、遊具があり、1年を通して、身体を十分使って遊ぶことを園は大事にしています。身体を使うので、子どもたちはお腹がすいて、給食や午後のおやつにおにぎりなどをしっかり食べています。経験豊かな栄養士2人がたてる献立は幼児だけでなく、乳児も午前睡のあとなので、給食を残すことなくほぼ完食しています。今回の第三者評価の保護者アンケートでも「園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態にあっていると思いますか」で高い満足を得ています。食事の喫食状況にもかかわってくる午前睡の取組は子どもが家庭で過ごす時間も含めた連続した1日の中で重要な意味があります。今後、更に保護者に理解を得る取組をおこない、園と家庭と協力して進めていくことが期待されます。

◆子どもたちは保育士に丁寧に見守られて、基本的な生活習慣を身に付け、自分を素直に表現しています

園は子ども一人ひとりの個性を大事に毎日の保育をおこなっています。保育士は、乳児には寄り添い、表情やしぐさから気持ちを汲み取って、言葉にして返し、子どもの気持ちに添えています。幼児になると自分の気持ちが伝えられるように保育士は待ち、見守り、自分の言葉で話せるようにしています。保育士は笑顔で穏やかに話し、注意する時もまず気持ちを受け止め、それぞれの子どもにあった声掛けをしています。個性豊かな子どもたちに応答的に関わっているので、子どもたちは自分の気持ちを素直に表現することができています。また、子どもたちの「自分でやりたい気持ち」「今はやりたくない気持ち」を大事にし、それぞれの子どもにあった声掛けをして、「自分で出来た！」という達成感を大切に、基本的な生活習慣が身につけられるように丁寧にかかわっています。どの職員も同じように関わることができるように、職員は連携を取る努力をしています。子どもたちは大人への信頼関係が基盤にあるため、とても人懐こく訪問者や散歩先で出会う大人に笑顔で接しています。

◆保育理念を実現継続していくための将来を見据えた取組が期待されます

現在は経験豊富な保育士も多いことから安定した保育がおこなわれていますが、今後は将来を見据えた取組として、プライバシーに配慮した項目を保育の手順書に整備するなど既存の書類を見直すことや、3年後、5年後も「保護者と保育者がしっかり手をつなぎ、子どもを真ん中に共に成長していく」ために、園の課題となっている人材確保、人材育成にどのように取り組むのか、「地域に根ざした園」になるために何から始めるのかなど、事業計画の具体化、充実化が期待されます。

また、職業体験や実習生、ボランティアの積極的な受け入れや、園のもつ専門性を活かした育児支援をおこなうこと、園の特徴ある保育をWEBなども使って積極的に発信することで、地域とのつながりを深め、園の保育への理解を促し、人材確保にもつなげていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園長という立場で受ける初めての第三者評価で、大変緊張しましたが、勉強になりました。

様々な視点からの評価は厳しいものもありましたが、園として園長として不足している部分や課題が明確になったのは、ありがたいことでした。

今後は、保育内容や特色をもっともっと外に向けて発信していくことや、地域活動に積極的に参加するなど、外に向けた活動も具体化していきたいと思います。

総評では園の中で大事にしていることなど、客観的に見て文章化されているのでわかりやすく、私達も新鮮でした。横浜保育室の頃から続いている雰囲気や、職員のチームワークへの評価も糧に、今後更に頑張っていこうと思います。

ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり